

2024年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
家庭	家庭総合b	2	家総701	東京書籍	家庭総合 自立・共生・創造

<p>目標</p> <p>【学習指導要領】</p>	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に実現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>
<p>目標に向けての具体的な取り組み</p> <p>【指導上の留意点】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクーリングでは実習を中心とした指導を行い、裁縫技術が学習でき、かつ生徒の興味、関心、制作意欲の湧くような日常の用途に優れた題材を選ぶ。</li> <li>・衣生活・食生活・住生活について科学的に理解させ、各の文化について関心を持たせ、主体的な営みができるようにする。</li> <li>・生活における経済の計画について身近な事例を取り上げることで、主体的に問題に取り組む姿勢を養う。</li> </ul>
<p>評価の観点</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>各分野の生活に関する基礎的・な技術を理解し、身につけ、生活の中で生かすことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>生活にかかわる課題を見つけ、課題解決のために思考を深め、自分の考えをまとめ判断し、工夫したり創造したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>各分野に関心をもち、その充実向上を目指し、意欲的に取り組むとともに、自立した生活に向けて、実践的な態度を身につけようとする。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)	面接指導(単位時間)			評価方法
				回	時期	内容	時間	
後期 (前期)	10月 (4月)	食生活をつくる ・生涯の健康を見通した食事計画 ・調理の基礎 ・食生活の文化と知恵 ・これからの食生活	よりよい食習慣を身に付けるための知識と技術を学び、生活の質を高める視点と、食料自給率や資源環境の観点から、食生活について考える。	第7回	10月 (5月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	10月 (5月)	衣生活をつくる ・被服の役割を考える ・被服を入手する ・被服を管理する	健康で快適に装うために、どのように被服計画を立てていけばよいかを考え、身に付ける。	第8回				レポート 視聴報告書
	10月 (5月)	衣生活をつくる ・被服を作る ・衣生活の文化と知恵 ・これからの衣生活	目的に合った被服を製作するために、被服の構成を理解する。	第9回	スクーリング 10～12月 (6～7月)	課題製作を通して基礎的な縫い方を身に付け、今まで気づかなかった布製品の側面について知る。作成計画の立て方を考え、身に付ける。	2	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	10月 (5月)	住生活をつくる ・住生活の変遷と住居の機能 ・安全で快適な住生活の計画 ・住生活の文化と知恵 ・これからの住生活	安全で快適な住居を整え、地域の住文化に溶け込み、街並みや周囲の自然環境と調和した持続可能な住生活を営むために必要な知識を身に付ける。	第10回				レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	11月 (6月)	経済生活を営む ・情報の収集・比較と意思決定 ・購入・支払いのルールと方法 ・消費者の権利と責任 ・生涯の経済生活を見通す ・家計をマネジメントする ・これからの経済生活	自立した消費者として適切に意思決定を行い、消費生活をマネジメントする力を身に付ける。	第11回	11月 (6月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	12月 (7月)	持続可能な生活を営む ・持続可能な社会を目指して ・一人一人の力で社会を動かす これからの生活を創造する ・生活をデザインする	地球全体で起こっているさまざまな問題の課題について学び、生活者として何ができるかを考え、取り組み、持続可能なライフスタイルを実現する。	第12回	12月 (7月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	1月 (9月)	単位認定試験						
					面接指導(単位時間) 合計			2